

## ロシア（と中国）はどこまで我慢できるか？

—そして仕組まれたロシアとの戦争は、我々すべての絶滅を狙っている

【訳者注】世界的大戦争が、ロシアの我慢と賢明な判断ひとつで抑えられているというのに、アメリカとその従僕国、それに“売春メディア”は、ロシア（プーチン）を、これでもかと侮辱し挑発し続け、戦争が一触即発の状態になっても、人民は何も知らされていない。プーチンは先ごろ、ついに西側のメディアを前にして、その人類に対する無責任を叱った。

警告者の中でも P・C・ロバーツは、特に事情を知り尽くした人物であることは、本文を読めばわかる。世界の運命が、プーチン（とロシア国民）の忍耐と賢明な判断にかかっているという状態は、実は、何年も前から継続している。2014年7月17日、ウクライナ上空でマレーシア航空機が撃墜されたとき、ロシアが犯人だとする報道がその日のうちに世界を駆け巡ったが、これが“ニセ旗”である状況証拠が次々に現れ、ついに「プーチン大統領とロシア国民の皆様」に対する公開謝罪状がネット上に現れ、たちまち大量の署名者を得たことがあった。（我々はこれを訳して紹介した。）世界には、メディアのウソや隠ぺいやプロパガンダにもかかわらず、正しい判断のできる人達が十分にいることの証拠である。

メディアを信ずるのは勝手だが、それによって悪に与ることがあってはならない。

Paul Craig Roberts

July 31, 2016、Information Clearing House



かつて労働者の権利、高齢者、市民権、そして憲法によるアメリカ的自由の保護のために尽くした民主党は、もはや存在しない。終わったばかりの民主党大統領予備選挙と、民主党大統領全国集会がはっきり示したように、アメリカには今、“1パーセント”（グローバル・エリート）のために働く2つの共和党だけがある。

組織化された民主党員——民主党全国委員会（DNC）——は、共和党以上に買収されやすく腐敗していることを、自ら明らかにした。リークされた e メールは、民主党全国委員会、バーニー・サンダースから指名を盗むための、ヒラリー・キャンペーンと共謀していたことを証明している。サンダースが、民主党員選挙による大統領候補だったことは明らかである。しかし指名が、投票詐欺と汚い策略によって盗まれた。

DNC とメディア売春婦どもは、リークされた e メールは、ロシア大統領ウラジミール・プーチンが、“プーチンのアメリカ・スパイ” ドナルド・トランプのために仕掛けた策略からきたものだと主張することによって、その犯罪性を否定しようとした。「トランプへの 1 票はプーチンへの 1 票」と、売春メディアは言っている。

注意をそらそうとするこの戦術は、うまくいかなかった。アメリカ人といえども、そんなものに引っかかるほど馬鹿ではない。

その結果として、DNC の腐敗した“リーダー”（女性）は辞任せざるをえなくなり、指名集会においてブーイングされることを怖れて、スピーチをすることができなかった。

サンダースの支持者たちは、ヒラリーとニセの“民主党”を見捨てた。おそらく彼らのほとんどは、緑の党の候補者に投票するだろう。

組織化された共和党員——共和党全国委員会（RNC）——とシオニスト・ネオコンは、DNC がサンダースを阻止したように、ドナルド・トランプを阻止したかったのだが、できなかった。ネオコンたちが、ヒラリーのために組織化しようとしているのは、彼女が彼らの願う戦争屋であり、トランプはそうでないと言っているからだ。しかしこの大統領争いは、実は、2つの共和党のどちらが“1パーセント”のための売春婦になるかの争いだから、RNC は、ヒラリーが選挙民の支持がないと見て、トランプにくっついているように見える。干されるよりは、収入の多い売春婦がいいからだ。

今年の大統領選では、結果はおそらく、力をもつ寡頭政治利益集団が、トランプを現実の脅威と見るか、それとも彼と仲良くし、彼の政府を指名することによって彼を取り込むことができるかの、判断で決まるであろう。

トランプが無能だという意味は、個人としていかに優れていても、その人物は、マルチビリオン長者であると同時に、経済や対外政策問題の通にはなれないということである。赤裸々な事実、トランプがもし大統領になっても、誰を閣僚に指名すれば、彼の支持者の願いである変化を実現するために、自分の政府から支持が得られるかが、わからないことである。

ある人物が大統領になっても、その人が突然、知識の豊富な百科事典になるわけではない。大統領は、彼の政府からの情報の流れに依存している。もしその情報の流れが、ウォール街、腐敗した“倒れようもない大銀行”、軍事 - 安全保障複合企業、イスラエル・ロビー、農ビジネス、それに掘削産業（エネルギー、鉱業、製材）などの利益を支持するものなら、その大統領の決定は、これら物的な利益を支持することになるだろう。

ドナルド・トランプをアメリカ人民が選んだのは、彼が、米国内雇用のオフショアリング（海外流出）——米中間層の犠牲において“1パーセント”を豊かにする企業の慣行——に反対だからである。

ドナルド・トランプをアメリカ人民が選んだのは、彼が、ロシアとの、でっち上げの根拠のない戦争に反対だからである。アメリカ人ですら、それが大きな核戦争になっては、ひどい結果になることを理解している。

ドナルド・トランプをアメリカ人民が選んだのは、彼が、NATO は今ワシントンの侵略の、手段として、隠れ蓑として利用されていることを知っているからである。これは、ワシントン自身が創った国際的成文法のもとで戦争犯罪である。しかも NATO は、25 年前に、ソ連共産党過激派による、ゴルバチョフに対するクーデタによって、ソビエト連邦が崩壊したときに、その目的が消失した組織である。ワシントンの起こす戦争は、アメリカの 99 パーセントと、多くの国の何百万という罪のない人々を犠牲にして、“1パーセント”の中のある者たちに利益を与えている。

これから起こると思われるのは、売春メディアが、プーチンを悪魔化した以上に、トランプを悪魔化することである。売春メディアのゲスどもは、あらゆる手段を使って、トランプへの支持を、アメリカに対する謀反であるかのように思わせるだろう。

いま売春婦メディアは、最も明白なウソ——サダム・フセインの大量破壊兵器、イランの核兵器、アサドの化学兵器使用、ロシアの侵略など——でも、責任を問われることなく言いふらせることを知ったので、トランプについても、ウソをつけることを知っている。

彼らはそうするだろう——徹底的に。

しかし売春メディアは信用を失っている。彼らの言う通りに信ずるのは、よほどのお人好しだけだろう。

“進歩的”な人々は離れていくだろう。彼らは、アメリカ民衆の取る立場である、難民についてのトランプの立場に反感を覚えるだろう。“進歩的”な人々は、“ファシスト”トランプが、トランスジェンダーやホモセクシュアルを迫害したり、女性の墮胎権を取り消したりするのではないかと心配している。こういう人たちには、ワシントンとその NATO 従僕が世界を核戦争に投げ込もうとしているときに、そちらの方が重要に思えるのだろう。

また、今は亡きアメリカ左翼からは、どんな情報も期待できない。アメリカ左翼は、9・11の公的説明——過去 15 年間の不法な戦争とアメリカ警察国家の口実——を支持する。アメリカ左翼というものが、現実にはニセ旗事件であり、ネオコンが中東を侵略するために犯した“新しいパール・ハーバー”事件の、公的説明に全面的に同調しているという事実は、アメリカ左翼が全く論外であることを証明している。

アメリカ左翼は、9・11 とそれに続くいくつかのニセ旗事件を、抑圧された人々の抑圧者に対する復讐と解釈している。このことの感情的満足によって、無力なアメリカ左翼は全く行動できないだけでなく、意味のあるコメントさえすることができない。アメリカ左翼は、敵——ワシントンの政治を支配するネオコン——の味方になってしまった。

では我々の立場はどうなっているのか？ 答えは、我々はこれまでより以上に、核による絶滅に近いところにいる、ということである。私は自分の言っていることがわかっている。私は、最も高度な安全保障の秘密を知ることのできる地位にいた。私は冷戦の終わりまで、レーガン大統領の行動を決定する、ある秘密委員会のメンバーだった。

ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、狂ったアメリカのネオコンたちが人類を導こうとしている核戦争を避けるために、なしうるあらゆる努力をしている。地球惑星のために奮闘する彼の努力に対して、彼は、日に 24 時間、週に 7 日、何年も、悪魔化されている。単に事実を述べているのに、私は売春婦メディアから、“プーチンの弁護をする者”と呼ばれている。

ロシアについての止めどもないウソは、ロシアのメディアをして、ワシントンは NATO 従僕を動員してロシアを攻撃させようとしていると確信させた。次のロシアのメディア放送の写しを読んでいただきたい：——

<https://vimeo.com/174777588>

(2016 NATO サミット：“注意せよ、ロシア！”)

もしあなたが、このロシアのニュース放送を吸収した後で、怖くならないとしたら、あなた

はどうしようもない愚か者である。そのメッセージは明らかだ——西側はロシアに宣戦を布告した。しかし、それを否定することによって、ロシアを油断させ、不意を突こうとしている。

ロシアのニュース報道のこのビデオはまた、最近のポーランドの NATO 会議で、ロシアのメディアが受けた、鼻であしらうような扱いをも明らかにしている。ラトビア（西側によって無残に略奪された）、エストニア、リトアニア、およびポーランドといった弱小国の弱小代表たち、それにウクライナの代表は、ワシントンの虚偽のロシア非難を、ロシアのメディアに話すことを拒否するか、あるいはそれを繰り返すインタビューを用いて応えている。これらロシアを侮辱する馬鹿者どもは、ロシアが数分で破壊することのできる国の代表たちである。もしこれら愚か者どもが、ワシントンが彼らを救ってくれると考えているなら、彼らは、1939年3月の、イギリスの保証が絶大な力を持ち、ポーランドがヒトラーの目に指を突っ込むという向こう見ずな行為から、自分たちを救ってくれると考えた、ポーランドの大佐たちと同じくらいに愚か者である。愚かなイギリス人の挑発による、このポーランドの愚かさは、第二次世界大戦のきっかけとなり、イギリスとフランスはドイツに宣戦布告し、ポーランドは半世紀にわたって、ソビエトの支配を受けた。誰かが保証している！ 平和を望んだのろまのチェンバレンは、イギリスの無価値の“保証”によって第二次大戦を始めた。

ワシントンの傲慢な、戦争屋の馬鹿どもが、アメリカと同等の核大国に、アメリカは攻撃してくると確信させたというのに、あなたは大丈夫だと確信できるか？

のみならず、ロシアは、もう一つの核大国、中国と同盟を結んだ核大国であり、中国も、ワシントンの愚かな挑発を十分に受けている。あなたは、“あなたの”政府があなたの未来を、2つの核大国との核戦争に導いてほしいと思うか？

いま我々アメリカ人は、大統領選挙に向かってまっしぐらに進んでいるが、今回の選挙に伴う圧倒的な事実——ワシントンが核戦争で人類を脅かしているという事実——は、討論の対象になっていない！ 我々アメリカ人はどうしたのだろうか？ 我々は信じられないほどに愚かなのだろうか？ 我々が痴呆のように座って、重要でもない問題が、この時代で最も重要であるかのように考えている間に、“我々の”狂気じみた政府は、核戦争を挑発している。いったい歴史上、これほどまでに自分の責任を忘れてしまった民族があったろうか？ あるとしたら、どこに？

私の訴えはこれだけにしておこう。純粋な悪が西洋を支配し、世界を絶滅へと追いやろうとしているという事実を、反証する証拠はない。西側の民主主義は完全な失敗である。民主主

義は、狂った戦争屋ヒラリーが、アメリカ人民の反対にもかかわらず、大統領指名を受けようとしているのを阻止することができない。

ロシアと中国は、ワシントンからやってくる攻撃を、先制攻撃しなければならないと結論するまでに、どれだけ長く辛抱できるだろうか？ 誰でも、たとえ愚かなアメリカ人でも、ひとたびロシアと中国が、自分が標的にされていると確信したとき、彼らはじっと座って攻撃を待つだろうと考えるだろうか？

西側の人民ほど義務の放棄を犯している者たちに、生き残る権利があるだろうか？